



令和6年3月8日発行

演劇・映画の専門図書館

松竹大谷図書館

ニューズレター

No. 312(2024年3月)

■文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点」研究拠点形成支援プログラム研究プロジェクト 2023年度成果報告会(ハイブリッド)

2024年2月23日 発表者：武藤祥子

立命館大学アート・リサーチセンター(以下ARC)は、1998年に文理融合による文化・芸術の研究拠点として立命館大学衣笠キャンパス内に設立された研究機関であり、2014年より文部科学省共同利用・共同研究拠点到認定されたことを受けて、日本文化の有形・無形文化財のデジタル・アーカイブを研究テーマとする共同研究を推進している。2019年10月には文部科学省の国際共同利用・共同研究拠点の認定を受け、日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点として活動を開始し、より広く国内外より研究プロジェクトを公募し、海外の著名美術館・博物館を含む日本文化研究拠点との人的ネットワークを活用しながら、デジタル・ヒューマニティーズ分野の“世界水準の研究拠点形成”を目指している。

当館は、2014年度より個別テーマ設定型の共同研究プロジェクトに採択され、10年目の2023年度も「演劇上演記録データベースを活用した、演劇資料画像検索閲覧システムの構築に関する研究」という研究課題で活動を行った。本研究は、演劇研究

や演劇資料整理の基礎となる演劇上演記録のデータの不完全な情報について、劇場プログラムなどの資料を典拠に考証を進めて修正・追加をしていくことでデータの精度を上げ、さらにそのデータをメタデータなどに活用することで画像検索閲覧システムを構築することを目的としている。研究メンバーは、立命館大学文学部教授の赤間亮先生、村島彩加先生(明治大学兼任講師)、原田真澄先生(早稲田大学演劇博物館助教)、武田寿恵先生(明治大学理工学部兼任講師)と、当館の武藤・井川・佐々木の計7名である。この国際共同研究拠点の2023年度成果報告会が2024年2月23、24日にかけてARCの会議室とオンラインのハイブリッドで開催され、当館は23日にオンラインで発表を行った。

今期の演劇上演記録データベースを活用した成果としては、上演記録のデータをもとに歌舞伎公演のプログラムに掲載されている演目別の上演年表について、全国の大劇場の21公演87演目分を作成したことをあげた。また、俳優別の出演記録として、『艶やかに 尾上菊五郎聞き書き』(著者：小玉祥子、毎日新聞出版、2023年10月31日発売)の巻末に「年譜」として掲載された、七代目尾上菊五郎の初舞台から現在まで75年分の73ページにわたる年表を作成したことを報告した。

続いて、画像検索閲覧システムの構築に関する成果として、昨年公開した《演劇写真検索閲覧システム》について報告し

目次:

文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点」研究拠点形成支援プログラム研究プロジェクト 2023年度成果報告会(ハイブリッド)	1-2
歌舞伎座筋書「レトロ写真館」連載:3月「橋」	3
第102回所蔵資料ミニ展示「俳優 笠智衆 一生涯120年-」開催のお知らせ	3
所蔵資料紹介 -[13]『ヤマトタケル』台本-	3
新着資料案内	4
新規登録資料案内	4
新たに資料をご寄贈くださった方々	5
公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	5
春期休館のお知らせ	5
松竹大谷図書館へのご来館に關しましてのお願い	5
利用案内	6



た。本閲覧システムは、2019年のクラウドファンディングで得た支援金で、ARCに委託し12,000枚の写真の表裏をデジタル撮影、その画像データをもとに共同研究として上演記録データなどを活用しメタデータを入力、情報の入力完了した約5,500件のデータを昨秋公開したものである。報告会では、まずデジタル化からアーカイブ公開までの経緯として、【松竹大谷図書館での搬出前の仕分け】、【ARCでの撮影・確認・画像処理作業】【メタデータの入力(考証)】について説明した。

今回デジタル化を行ったのは、長年段ボールに混沌とした状態で詰められ未整理のまま置かれていた演劇写真であった。紙媒体の資料は大量の資料を目視で同時に比較しやすいため、同じ版と思われる写真を寄せたり、俳優別に分類し、役柄別に寄せたりするなど、【搬出前の仕分け】をある程度しておく、デジタル撮影後の画像考証の作業が非常にやりやすくなる。しかしながら、明治期や大正・昭和期の俳優を役柄に扮装した写真から判別する、という専門的知識が求められる作業のため、仕分けが行える人員を確保するのが難しい。当館の直前に報告を行った、立命館大学映像学部の研究チームも昭和年代のジャズミュージシャンの写真の特定作業について、レコード会社の社員や音楽喫茶の店員や利用者などに協力を仰いでいるという報告があった。研究メンバーだけでもある程度判別はつくが、やはり当時実際に見ていた方に助力を願うことが重要であることを語っていた。

【メタデータの入力(考証)】については、仕分け時に判明した俳優名をリスト化して、そのデータをメタデータに流し込んでもらい、俳優別に担当を決めて作業を行った。俳優の写真集などを参考にすることで写真整理に慣れていないスタッフも役名や演目を特定しやすくなり、考証作業の効率化につながった。また、考証作業には、ARC番付ポータルデータベースも活用した。特に帝国劇場筋書(ARC所蔵)と、歌舞伎座筋書(松竹大谷図書館所蔵)のデータは配役の他、挿絵や粗筋を画像で確認することができるため、あまり上演されない場面や、新作などの写真を特定する上で非常に参考になった。演目や役名が入力がある程度進んでからは、既に多くの写真データが公開されているARC催事型写真ポータルデータベースで「演目」や「役名」で検索し、他館所蔵の同じ写真が見つかった場合は、そのメタデータの上演年月や劇場の情報を入力の参考とした。

このように公開済みのアーカイブも大いに活用してメタデータの入力を進め、2019年のクラウドファンディングでの資金募集から4年たった2023年10月17日によりやくアーカイブを公開することが出来た。アーカイブ公開後の写真データの活用事例

としては、ポルトガル・オリエンテ美術館の「歌舞伎と歌舞伎版画 伝統と変遷」展(2024年4/4~)に、明治期の写真画像の展示提供を行ったこと、また、今年1月より当館の担当で、歌舞伎座の筋書に「明治大正昭和レトロ写真館」の新連載を始め、毎月演劇写真を数点掲載し紹介を行っていることを報告した。

続いて、一昨年2022年の7月に「芝居番付検索閲覧システム」において公開した、戦前歌舞伎座の筋書のデジタル・アーカイブの2023年度の活用成果について、表紙の画像を活用して、歌舞伎座新開場10周年記念「歌舞伎座レトログッズ」と銘打ったカラフルな文具シリーズが歌舞伎座サービス株式会社により制作・発売されたことを報告した。公開したアーカイブを介して商品開発の担当者と画像の候補の選定などのやり取りを行い、高画質のデジタルデータを商品に活用することが可能となったことは大きな成果である。

最後に、公開準備中のデジタル・アーカイブとして、当館が所蔵する竹本床本のうち、竹本鏡太夫及び豊竹寿太夫旧蔵本589冊をデジタル・アーカイブ化した竹本床本検索閲覧システムが現在最終調整に入っていること、また、来期に向けて、クラウドファンディング第12弾のプロジェクトである『松竹座ニュース』のデジタル化を推進中であることを報告した。当館はこれまで7つのデジタル・アーカイブを公開してきたが、この共同研究も10年目を迎え、来期の共同研究より「研究費配分型」から「資源活用型」に申請をして、引き続き資料のデジタル・アーカイブ化とデータベースの公開を進めることを話し、報告を終えた。

今回の報告会の初日の開会の言葉として、ARCセンター長である立命館大学映像学部教授の細井浩一先生が、能登地震で失われた工芸品や民芸品について触れられ、貴重な資料をデジタル化し、日本文化資源として将来に引き継いでいくことの意義についてお話くださったことがとても印象に残っている。デジタルデータの保存は、保存場所の分散ということもふくめ、いつ起こるか分からない天災等も見越して考えておかなければならない。当館は今後もARCと提携して所蔵資料のデジタル化とアーカイブの公開を行っていきたいと思う。

▼松竹大谷図書館デジタルアーカイブ

<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/da/da.html>

▼演劇写真検索閲覧システム

https://www.dh-jac.net/db/butai-photo/search_sol.php

▼芝居番付検索閲覧システム

https://www.dh-jac.net/db1/ban/search_shochiku.php



■歌舞伎座筋書「レトロ写真館」連載:3月「橋」

当館デジタルアーカイブより、選りすぐりの歌舞伎プロマイドをご紹介します歌舞伎座筋書の連載「明治大正昭和 レトロ写真館」。今月3月のテーマは「橋」です。歌舞伎の舞台では、背景画や大道具で橋をよく見かけますが、そこでは登場人物の心情が語られたり物語が大きく動いたりといった重要な場面が多いようです。

レトロ写真館に掲載した中からこちらにご紹介するのは、チャップリンの名作映画「街の灯」の舞台を江戸に置き換えた作品『蝙蝠の安さん』の主人公、蝙蝠の安さんです。昭和6(1931)年8月歌舞伎座で初演されましたが、日本での映画公開は昭和9(1934)年ですので、その前に実は歌舞伎で上演されていたこととなります。脚色の木村錦花は、アメリカで映画を見たという知人の話や映画雑誌などを参考にして、映画公開からわずか半年という早さで歌舞伎ではお馴染みの『与話情浮名横櫛』の蝙蝠安を主人公とした作品に仕立て上げました。まだ今

日のような著作権概念がなかった時代とはいえ、当時如何に世界中で「街の灯」が話題となっていたか、またそうした話題の新作映画を即座に芝居に取り込もうとするスピード感が当時の劇界の勢いを感じさせる一枚です。



蝙蝠の安さん(十三世守田勘弥)

《松竹大谷図書館所蔵・演劇写真検索閲覧システム》

https://www.dh-jac.net/db/butai-photo/search_sol.php

■第102回所蔵資料ミニ展示「俳優 笠智衆 -生誕120年-」開催のお知らせ

本年は、笠智衆の生誕120年にあたる年です。

小津安二郎監督の『晩春』『東京物語』での名演や、山田洋次監督の国民的人気シリーズ映画『男はつらいよ』の御前様で知られる笠智衆。木下恵介監督の『野菊の如き君なりき』や渋谷実監督の『好人好日』など、多くの松竹の名作・話題作に出演し、その黄金期を支えた映画俳優でもありました。また、松竹作品だけでなく、稲垣浩監督の『嵐』で主演をつとめるなど他社作品でも活躍し、ドイツの名匠ヴィム・ヴェンダースの『夢の涯てまでも』でも重要な役どころで出演するなど、映画界において深い印象を残しています。

3月18日より当館閲覧室にて開催する今回の展示では、松竹の作品を中心とした映画資料を展示し、その親しみある演技で長年にわたり映画ファンに愛された名優の姿を偲びます。



上左より「命美わし」「東京物語」「野菊の如き君なりき」「下左より『嵐』『好人好日』『男はつらいよ』第1作」『台本

閲覧室ミニ展示「俳優 笠智衆 -生誕120年-」

展示期間:2024年3/18(月)~5/29(水)/時間:平日10時~17時/休館日:土日祝日、毎月最終木曜日/展示場所:松竹大谷図書館 閲覧室 ※現在、展示は予約なしでご覧いただけます。松竹大谷図書館 TEL 03-5550-1694 (平日:10時より17時) <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

■所蔵資料紹介 -[13]『ヤマトタケル』台本-

松竹大谷図書館の所蔵資料を写真と共にご紹介するコーナー「所蔵資料紹介」。今回ご紹介する資料は、『ヤマトタケル』の台本です。

哲学者梅原猛が書き下ろし、二世市川猿翁(三世猿之助)の脚本・演出で昭和61(1986)年2月に新橋演舞場で初演された『ヤマトタケル』。スーパー歌舞伎と名づけられた最初の作品で、現在まで上演を重ねている人気作です。当館は初演を含む各公演の上演台本を所蔵しており、本年2月4日より3月20日まで新橋演舞場にて上演中の最新の台本も所蔵しています。どの台本も閲覧室でお読みになれますので、ご希望の方は閲覧席をご予約ください(※現在電話予約優先)。当館HPの「資料検索」で検索可能です(<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>)。また、劇場プログラム、そして舞台面(背景や大道具の記録用に撮影される写真)も所蔵しており、特に初演は103枚を数えます。当時の劇評やグラビアが掲載された雑誌『演劇界』などの資料も所蔵しています。是非あわせてご覧ください。



『ヤマトタケル』各上演台本。左上の金の表紙が初演台本
右下の白表紙が現在上演中の最新の台本

新着資料案内 (ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系2月演劇公演資料◆		○… 受入済み			
劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『新版歌祭文 野崎村』	○	○		
	『釣女』	○	○		
	『籠釣瓶花街酔醒』	○	○	○	○
	『猿若江戸の初櫓』	○	○		
	『義経千本桜 すし屋』	○	○		
	『連獅子』	○	○		
新橋演舞場	『ヤマトタケル』	○		○	○
松竹座	『源平布引滝 義賢最期・竹生島遊覧・実盛物語』	○			
	『新版色讀販 ちよいのせ』	○		○	○
	『連獅子』	○			
	『曾根崎心中』	○			
御園座	『三人吉三巴白浪 大川端庚申塚の場』	○			
	『湧昇水鯉滝 鯉つかみ』	○			
	『歌舞伎十八番の内 外郎売』	○			
	『義経千本桜 吉野山』			○	
	『相生獅子』				
	『慶安太平記 丸橋忠弥』	○			
博多座	『十三代目市川團十郎白猿八代目市川新之助襲名披露口上』				
	『歌舞伎十八番の内 勸進帳』	○			
	『江戸宵闇妖鉤爪 明智小五郎と人間豹』	○		○	○
	『鶴の殿様』	○			

ラム/『Yuichiro & Friends -Singing! Talking! Not Dancing!-』シアタークリエイプログラム/『海宝直人コンサート ATTENTION PLEASE!2』シアタークリエイプログラム/ミュージカル『チャーリーとチョコレート工場』帝国劇場プログラム/ミュージカル・ピカレスク『LUPIN ～カリオストロ伯爵夫人の秘密～』帝国劇場プログラム/『Act ONE』帝国劇場プログラム/ミュージカル『トッツィー』日生劇場プログラム/ミュージカル『ジョジョの奇妙な冒険 ファンタムブラッド』帝国劇場プログラム/少女歌劇団ミモザース『Love Letter』博品館劇場プログラム/『舞台 スパイ教室』博品館劇場プログラム/朗読会『PLANET KENJI プラネット・賢治』博品館劇場プログラム/名取事務所『509号室 迷宮の設計者』下北沢小劇場B1プログラム、台本/劇団俳優座『閻魔の王宮』俳優座劇場プログラム、台本/日本の演劇人を育てるプロジェクト『みえないくに』東京芸術劇場シアターイーストプログラム、台本/ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ『ミュージカル 洪水の前』地方巡業プログラム/劇団民藝『やさしい猫』紀伊國屋サザンシアターTAKASHIMAYAプログラム/『舞台版 舌切雀』ヒューリックホール東京台本/『令和6年1月邦楽公演』新国立劇場小劇場プログラム/『第27回特別企画公演』国立文楽劇場プログラム/『第173回文楽公演』国立文楽劇場プログラム

◆映画パンフレット◆(順不同)『カラーパープル』『劇場版 マーダー★ミステリー 探偵・斑目瑞男の事件簿 鬼灯村伝説 呪いの血』『ソウルメイト』『舟を編む(復刻版)』『瞳をとじて』『ARGYLLE アーガイル』『罪と悪』『ファイブ・ナイツ・アット・フレディーズ』『落下の解剖学』『マダム・ウェブ』『コヴェナント 約束の救出』『劇場版ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦』『ワールドツアー上映「鬼滅の刃」絆の奇跡、そして柱稽古へ』『コットンテール』『イヴオンヌの香り』『Roman Polanski why?』『小さな旅人』『スウィート ヒアアフター』『イン&アウト』『CUBE』『パルーカヴィル』『インファナル・アフェア』『ロミオとジュリエット』『スパニッシュ・プリズナー』『シャロウ・グレイブ』『精霊のささやき』『2/デュオ』『欲望の翼』『クリーン、シェーブ』『アズミ・ハルコは行方不明』『明け方の若者たち』『エンディングノート』『白河夜船』『パレード』『スーパ・オペラ』『ケンタとジュンとカオちゃんの国』『たどんとちくわ』『Jam Films』『ワンダフルライフ』『犬猿』『忘れないと誓ったぼくがいた』『そのみにて光輝く』

◆演劇雑誌◆(順不同)『Confetti』2024年March/『SePT 倶楽部 information』2023年10月号, 12月号/『げき』27号/『ほうおう』2024年4月号/『テアトロ』2024年3月号/『ラ・アルプ』2024年3月号/『歌舞伎 研究と批評』68号/『劇評』第23号/『大向う』令和6年2月号/『長唄』134号/『日本照明家協会誌』2024年2月号/『日本舞踊』76巻3月号/『悲劇喜劇』2024年3月号

◆映画雑誌◆(順不同)『FLIX』2024年4月号/『SCREEN』2024年4月号/『TVガイド』2024年2/9号, 2/16号, 2/23号, 3/1号/『おとなのデジタルTVナビ』2024年4月号/『キネマ旬報』2024年3月号/『シナリオ』2024年4月号/『シナリオ教室』2024年3月号/『ドラマ』2024年3月号/『ピクトアップ』2024年4月号/『映画芸術』486号/『映画時報』2024年1月号/『映画秘宝』2024年4月号/『日経エンタテインメント!』2024年3月号/『文化通信ジャーナル』2024年2月号

◆他社演劇公演資料(2023年12月-2024年2月)◆(順不同) Nana Produce『人の気も知らないで』『仮面夫婦の鑑』『さらば鎌玉』テアトルBONBONプログラム/劇団牧羊犬『夜の初めの数分間』王子小劇場プログラム/城山羊の会『萎れた花の弁明』三鷹市芸術文化センター星のホールプログラム/穂の国とよはし芸術劇場PLATプロデュース『たわごと』東京芸術劇場シアターイーストプログラム/演劇ユニット鶴の『天使の群像』ザ・スズナリプログラム/流山児★事務所『夢・桃中軒牛右衛門の』下北沢駅前劇場プログラム/good morning N° 5『失うものなどなにもない』下北沢小劇場B1プログラム/KAAT×東京デスロック×第12言語演劇スタジオ『外地の三人姉妹』神奈川芸術劇場大スタジオプログラム/iaku『モモンバのくくり異』シアターラムプログラム/KAAT神奈川芸術劇場プロデュース『SHELL』神奈川芸術劇場ホールプログラム/江戸糸あやつり人形結城座プロデュース『わが父、耳なしの琵琶奏者』ザムザ阿佐谷プログラム/serial number10『アンネの日』ザ・スズナリプログラム/Road ONE『朗読劇 龍の袖』天空劇場プログラム/劇団昂『クリスマス・キャロル』座・高円寺1プログラム/劇団扉座『扉座版 二代目はクリスマスチャー-ALL YOU NEED IS PASSION 2023-』紀伊國屋ホールプログ

新規登録資料案内 (順不同)

新しく受入れた資料をご案内いたします

『舞台の面影 演劇写真と役者・写真師』『演劇写真の誕生と展開 東京の役者、写真師、そしてメディア』『伝統芸能の革命児たち』『劇的』とは』『第9回シアター・オリムピクス公式記録』『文楽をゆく祝・二代目吉田玉男襲名記念』『綱大夫四季 昭和の文楽を生きた』『文楽のこころを語る』『四代越路大夫の表現 文楽鑑賞の手引き』『ゆっくりの美学 太田省吾の劇宇宙』『逆行 変形していくための演劇論』『井上ひさし』を読む 人生を肯定するまなざし』『井上ひさしの劇世界』『野田秀樹』『岸田理生の劇世界 アングラから国境を越える演劇へ』『風の演劇 評伝別役実』『幸せ最高ありがとうマジ

で!』『ケラリーノ・サンドロヴィッチ自選戯曲集 1 ナイロン100℃篇』『東の風が吹くとき 原発事故三部作 高木達戯曲集』『こんにちは、母さん』『鴉外の怪談』『唐十郎I』『戯曲福島三部作』『21世紀を信じてみる戯曲集』『歌わせたい男たち』『ケラリーノ・サンドロヴィッチ自選戯曲集 2 昭和三部作篇』『命、ギガ長ス』『ハロルド・ペンター 不条理演劇と記憶の政治学』『シェイクスピアの人間学』『なにもない空間』『ピーター・シェーファー』『アーサー・ミラーI』『トム・ストップードII』『新訳オセロー』

新たに資料をご寄贈くださった方々

(敬称略・順不同/2024年1月まで)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、世田谷文学館、(株)近代映画社、株式会社日本舞踊社、国立劇場、帝国劇場、愛知芸術文化センター、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、シナリオ・センター、劇団民藝、樽松大剛、墨染会、文学座、丸善雄松堂株式会社、劇団銅鑼、企業メセナ協議会、シアタークリエ、若林さだ吉、藤江ミノ(はなや)、一般社団法人日本民間放送連盟、おとなのデジタルTVナビ編集部、公益社団法人日本照明家協会、日比恆明、株式会社カモミール社テアトロ編集部、公益社団法人日本劇団協議会、キネマ旬報社、東宝株式会社ライツ事業部、関西学院大学 文化総部 古典芸能研究部OB会、神奈川県演劇連盟、国立映画アーカイブ、有限会社合同通信社、公益社団法人日本演劇興行協会、銀座百店会、株式会社文学座、株式会社セクターエイティエイトKENSYO編集部、川崎哲明、博物館明治村、公益財団法人日本近代文学館、人形劇団ブーク、特定非営利活動法人 国際人形劇連盟日本センター、無声映画鑑賞会、日本映画テレビプロデューサー協会、東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、(有)山本書店 山本賢三、紀伊國屋ホール、大阪芸能懇話会、ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ、劇団青年座、日本劇作家協会、銀座 博品館劇場、公益社団法人日本演劇協会、日本劇場技術者連盟、後藤はる、劇団俳優座、児童・青少年演劇ジャーナル「げき」編集委員会 どうもありがとうございます

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々(了承を得た方のみ掲載)令和6[2024]年2月にご支援いただきました

法人・団体 (50音順・敬称略)

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館へのご来館に関しましてのお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性がございます。

随時お電話での確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認ください。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

《現在のご利用について》(※2024年1月9日改定)

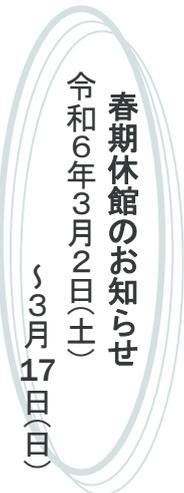
- 開館時間 10:00~17:00
- ご来館前日までにお電話でご予約いただいた方が優先となります。
当日のご利用も閲覧席に空きがある場合は承っておりますので、お問い合わせください。
展示や資料紹介はご予約なしでご覧いただけます。
松竹大谷図書館 03 (5550) 1694 (平日10時~17時)
- マスクの着用と手指消毒のご協力をお願いしております。

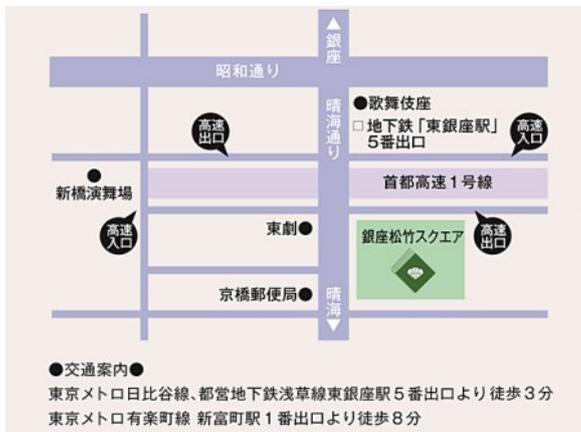
《ご予約について》

- ★10時から17時まで、毎正時より1時間単位でご利用いただけます。
- ★お名前、人数、ご希望日時(○月○日○時より○時まで)、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせください。
- ★資料は予約優先になりますので、ご利用いただけない場合もございます。

松竹大谷図書館資料検索 : <https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら : <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/220606.html>





- 利用案内●[開館時間]平日10:00～17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ
- [入館料]無料/[コピーサービス] A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担) 但し、コピー不可の資料もあります
- 資料検索●<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>
- 交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分/東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

編集・発行:公益財団法人 松竹大谷図書館
〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階
TEL:03-5550-1694
公式HP <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

公式HP



公式Facebook



公式Instagram



公式X

